

いちばらフィールドマップ 島野・千種

総距離 約6.3km(移動時間のみで約195分)

16 国道16号

【凡例】

- 標柱のある歴史遺産
- 主な歴史遺産等
- ◆ 公共施設等
- 推奨ルート



富士講(浅間神社)



出羽三山信仰(北青柳)



若宮八幡神社の奉納絵馬

廣瀬蘆竹が描いた明治期の風景



鷲神社西の市



島穴神社





CG-04 若宮八幡神社

貞観7年(865)の創建と伝わります。社伝では元徳元年(1329)の干ばつの際、村人が雨乞い祈願したところ、沖から鏡と龍の頭に似たものが入った箱が漂着し、降雨に恵まれたといわれます。かつては神輿が海浜を渡御し、相撲興行でも賑わいました。境内の「海苔築創業記」の碑には、明治33年(1900)に郡内初の海苔養殖に挑んだ先覚者たちの苦勞が刻まれています。



CG-05 浅間神社

漁業繁栄・五穀豊稔の神として崇敬されています。境内には、溶岩で覆われて富士山を模した塚が築かれ、老若男女誰でも富士登山を疑似体験し、ご利益が得られるようになっています。塚上に置かれた石灯籠には天明6年(1786)の年号が刻まれます。この頃、富士講一派で一山講開祖の日行八我が青柳を拠点として布教しており、県内で最も古い富士講がこの地で結成されました。



CG-06 鷲神社

祭神の天日鷲命はお酉様として知られ、氏子は鳥を大切にし、鶏や鶏卵を食べない人もいたといわれます。11月初酉の日から3日間が大祭で、境内に続く今津の宿通りでは西の市が開かれ、東京からも商人が来て農具古器物などを売ったほか、味噌作りに適した今津産の塩も取引されました。境内には芝居小屋が設けられ、大勢の観客が押し掛けて、近郷屈指の祭事として賑わいました。



CG-07 田中地藏尊

もとは海音山大日寺にあったものが、廃寺に伴って延命寺に移され、さらにその後、現在地にお堂を建てて安置されたといわれます。場所が田んぼのなかだったので「田中地藏尊」と呼ばれますが、「今津のいぼ取り地藏尊」として親しまれ、室内にはたくさんのお地藏様が奉納されています。境内にある小石を持ち帰っていぼをこすり、いぼが取れると石をふたつ返すことになっています。



見学される皆様へ

- ★歴史遺産は、郷土の歴史文化を伝えてくれるかけがえのない財産です。個人所有物であったり、私有地に置かれている場合もありますので、マナーを守って見学しましょう。
- ★駐車場は基本的にありませんので、公共交通機関を利用しましょう。路上駐車や無断駐車は厳禁です。
- ★社寺の境内や墓地は、信仰の対象です。行事が行われていたりする場合もあるので、迷惑にならないよう行動しましょう。
- ★ゴミは必ず持ち帰ってください。
- ★他人の家や社寺など建物の中に、無断で入らないようにしましょう。
- ★見学の際は、所有者の許可を得るのが基本です。特に団体で見学されるような場合は、事前に了承をとるようにしてください。
- ★保存や管理の都合上、公開日が決まっていたり、見学ができない場合があります。事前に確認して、公開日に見学しましょう。

いちほらフィールドマップ

制作・発行：市原市教育委員会

市原歴史博物館 〒290-0011 千葉県市原市能満 1489 番地 Tel.0436-41-9344 Fax.0436-42-0133
令和4年3月 第1版第1刷発行

I Museum Field

島野・千種



古代嶋穴郷と海上漕の記憶が残る島野・千種エリア。波静かで遠浅の海が人々の暮らしを支え、海運の拠点になりました。江戸との交流でいち早く伝わった出羽三山や富士山への信仰は、今なおこの地に息づいています。

I Museum



CG-01 出羽三山供養塚

山形県の出羽三山(月山・羽黒山・湯殿山)への初登拝者が、行人の証として腰梵天(木札)を授けられると、塚に石碑を建て、腰梵天を埋納して供養します。この供養塚は方形三段に築かれ、四隅が張り出す特異な形態です。塚上に祀られた大日如来像の台座には湯殿山大権現の文字と寛永7年(1630)の年号が刻まれ、出羽三山信仰に関わる石造物としては県内最古のものです。



CG-02 島穴神社

延喜式神名帳に記載される古社で、同じ式内社の姉崎神社と関係が深く、かつては神輿が両社を行き来しました。もとはJR内房線北側の小さな森付近にあり、天長3年(826)に現在地に遷座したと伝わります。戦国大名北条氏の兵火ですべて焼失したとされ、本殿は天明年間、拝殿は嘉永年間の再建です。拝殿に掛かる扁額は、寛政の改革で知られる松平定信の筆によるものです。



CG-03 光明寺

真義真言宗の寺院で、足利義明の開創と伝わります。青柳地区の中央に位置し、荘厳の美を極めました。江戸末期の大津波にさらわれ、縁起や什宝はすべて失われたといわれます。天明の大飢饉からの救済と弘法大師950年遠忌を記念して開かれた、市原郡八十八ヶ所霊場の65番札所となっています。学制発布後の明治7年(1874)からは、青柳小学校の校舎としても使われました。